

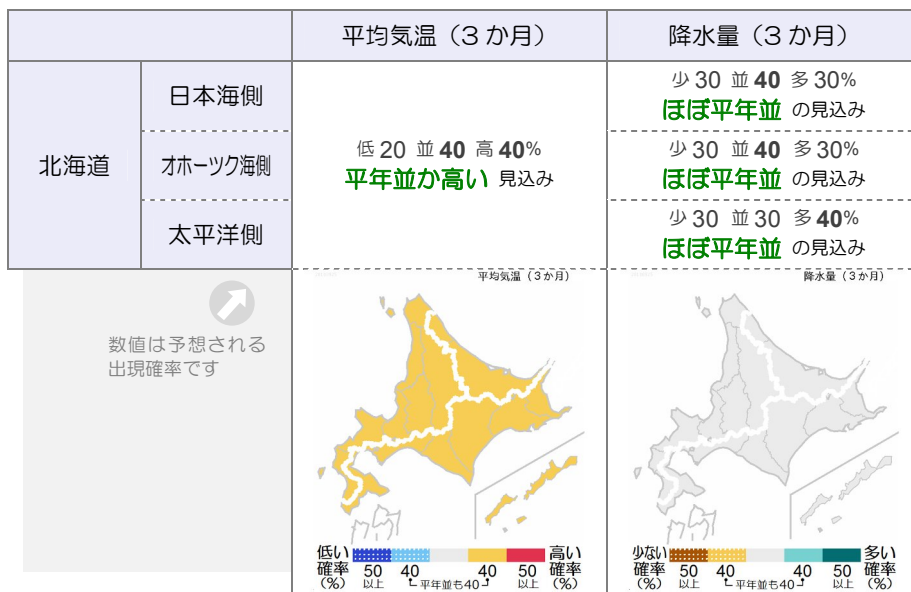
向こう3か月の天候の見通し

北海道地方 10月～12月

予報のポイント

- 暖かい空気に覆われやすいため、向こう3か月の平均気温は平年並か高いでしょう。
- 向こう3か月の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

3か月の平均気温・降水量

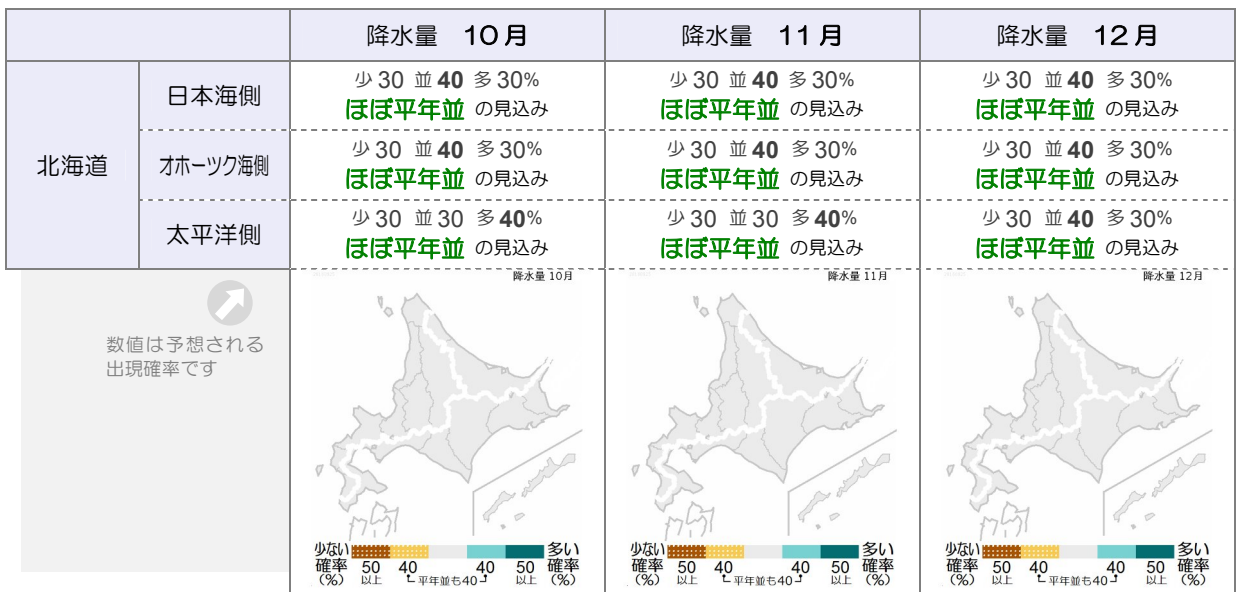
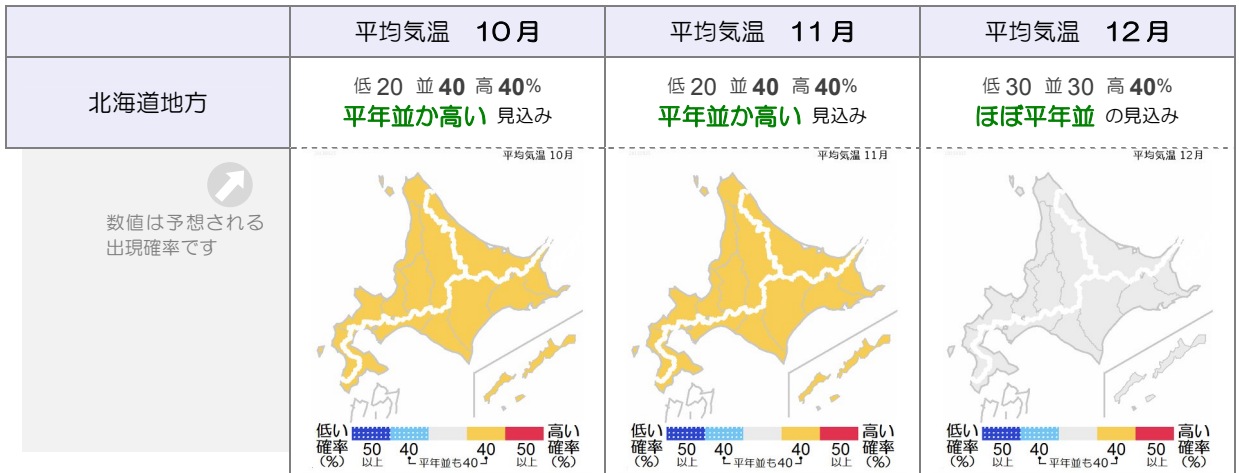


月別の天候

10月	11月	12月
<p>高気圧と低気圧が交互に通過する見込みです。</p> <p>日本海側では、月の前半は、天気は数日の周期で変わり、後半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。</p> <p>オホーツク海側・太平洋側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多い見込みです。</p>	<p>次第に冬型の気圧配置が現れるようになり、寒気の影響を受ける日があるでしょう。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。</p> <p>太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>	<p>冬型の気圧配置の強さはほぼ平年と同様の見込みです。</p> <p>日本海側・オホーツク海側では、平年と同様に曇りや雪の日が多いでしょう。</p> <p>太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。</p>

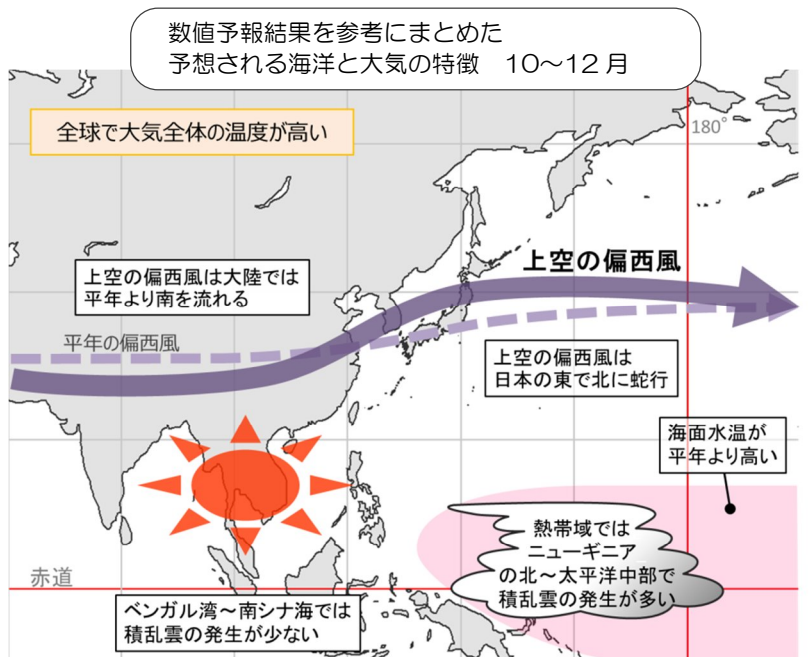
季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い（少ない）、平年並、高い（多い）」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ（平年並の範囲）」をご覧ください。
 確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ（確率予報の解説）」をご覧ください。

月別の平均気温・降水量



予想される海洋と大気の特徴

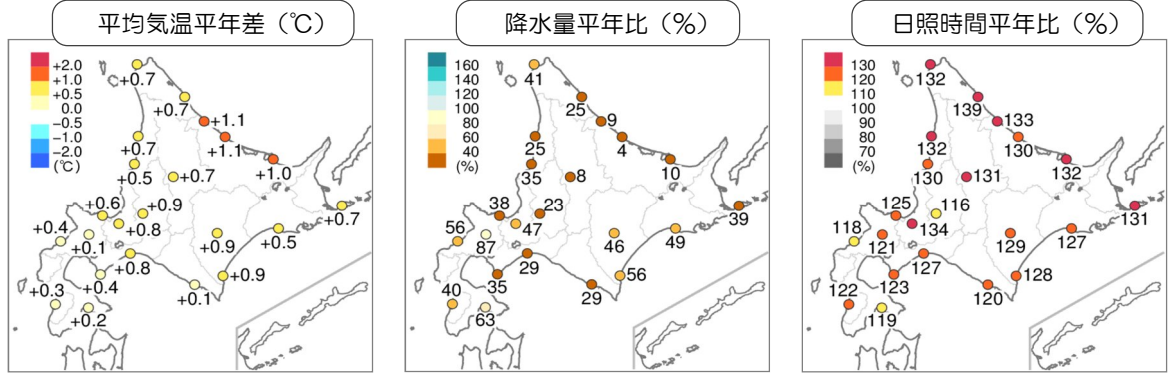
- 全球で大気全体の温度が高いでしょう。
- 熱帯域では、ニューギニアの北～太平洋中部で海面水温が平年より高く、積乱雲の発生が多い見込みです。一方、ベンガル湾～南シナ海では積乱雲の発生が少ないでしょう。
- 上空の偏西風は、大陸では平年より南を流れる一方、日本の東では北に蛇行する見込みです。
- 日本付近は、北からの寒気の影響が弱く、太平洋側を中心に南からの暖かく湿った空気が流れ込みやすいでしょう。



今月の天候経過（実況） 9/1~20

（上旬）期間のはじめは高気圧に覆われて晴れた日もありましたが、その後は低気圧や気圧の谷の影響で雨の降った日が多くなりました。5日は台風第21号の影響で全道的に雨が降り、大荒れの天気となった所もありました（日降水量は伊達市大滝で116.0mmなど）。

（中旬）高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、気圧の谷や上空の寒気の影響で大気の状態が不安定となって雨の降った所もありました。



（実況）9/1~20	平均気温平年差	降水量平年比	日照時間平年比
北海道地方	+0.6℃	36%	127%
北海道日本海側	+0.6℃	40%	126%
北海道オホーツク海側	+1.0℃	12%	134%
北海道太平洋側	+0.6℃	43%	126%

参考データ

● 平年並の範囲

	平均気温 3か月	平均気温 10月	平均気温 11月	平均気温 12月
北海道地方	平年差：-0.4~+0.4℃	平年差：-0.1~+0.4℃	平年差：-0.5~+0.5℃	平年差：-0.4~+0.6℃
北海道日本海側	平年差：-0.4~+0.4℃	平年差：-0.2~+0.3℃	平年差：-0.5~+0.6℃	平年差：-0.4~+0.7℃
北海道オホーツク海側	平年差：-0.5~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.4℃	平年差：-0.4~+0.5℃	平年差：-0.3~+0.6℃
北海道太平洋側	平年差：-0.3~+0.4℃	平年差：-0.1~+0.4℃	平年差：-0.5~+0.4℃	平年差：-0.4~+0.5℃
札幌	4.8~5.7℃	11.7~12.3℃	4.2~5.5℃	-1.4~-0.3℃
網走	3.6~4.5℃	10.3~11.1℃	3.4~4.2℃	-2.7~-1.8℃
釧路	4.0~4.7℃	10.5~11.1℃	3.9~4.6℃	-2.4~-1.5℃

	降水量 3か月	降水量 10月	降水量 11月	降水量 12月
北海道地方	平年比：94~110%	平年比：91~115%	平年比：85~113%	平年比：87~110%
北海道日本海側	平年比：95~104%	平年比：84~117%	平年比：88~106%	平年比：94~107%
北海道オホーツク海側	平年比：92~110%	平年比：83~120%	平年比：78~117%	平年比：81~117%
北海道太平洋側	平年比：91~115%	平年比：81~114%	平年比：77~118%	平年比：79~107%
札幌	296.8~346.7mm	83.3~121.7mm	82.8~115.5mm	96.6~119.0mm
網走	163.6~203.5mm	55.3~71.0mm	44.8~74.5mm	48.1~66.2mm
釧路	178.6~224.5mm	72.8~126.5mm	45.8~78.0mm	31.8~54.7mm

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間（1981~2010年）の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い（多い）」「平年並」「低い（少ない）」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い（多い）方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおよそ「平年並」の範囲としています。

● 晴れ日数と降水日数の平年値

	10月		11月		12月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
札幌	16.7日	11.7日	11.7日	13.9日	11.2日	15.4日
網走	17.8日	9.1日	15.6日	9.9日	16.3日	12.0日
釧路	19.6日	6.9日	21.1日	6.7日	22.9日	5.8日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

● 確率予報の解説（ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています）

出現確率（低い（少ない）：平年並：高い（多い））	解説
高い（多い）確率が50%以上	高い（多い）見込み
（20：40：40）	平年並が高い（多い）見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
（40：30：30）（30：40：30）（30：30：40）	ほぼ平年並の見込み
（40：40：20）	平年並が低い（少ない）見込み
低い（少ない）確率が50%以上	低い（少ない）見込み